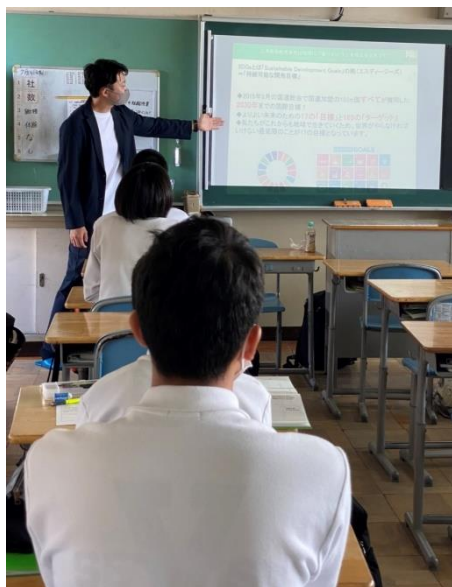


「地球環境・未来創造部」部長が、中学校で SDGs・環境問題を解説 80 回以上の無料授業ノウハウ活かし、職種体験プログラム 摂津市教育委員会の依頼受け 7/15 実施

産業廃棄物の処理・リサイクル事業を手掛ける三洋商事株式会社（本社：東京都江戸川区、代表取締役：河原林 令典^{かわらばやし よしのり}）は、大阪府摂津市教育委員会の依頼を受け、2021 年 7 月 15 日（木）に職種体験プログラムを摂津市立第五中学校にておこないました。

■ 環境問題への取り組みに加え、職業選択について考えるきっかけを提供



7 月 15 日に実施した、職種体験プログラムの様子

当社は、大阪府摂津市教育委員会の依頼を受け、摂津市立第五中学校の 2 年生に向けて、職種体験プログラムの第 1 回目となる授業を 7 月 15 日に実施しました。

この職種体験プログラムを担当したのは、当社が約 1 年前に立ち上げた新部署「地球環境・未来創造部」の初代部長石田公希（26 歳）です。第 1 回目の授業では、当社が手掛ける産業廃棄物中間処理業の事業内容を、中学生にも理解しやすく噛み砕いて説明した上で、SDGs や環境問題などの社会的課題についてレクチャーしました。また、石田が生徒と年齢が近いということで、中学生が職業を選択する際の参考になったり、将来への不安に対して勇気を与えたりできる内容を加えてほしいとの依頼も含まれていました。そこで石田は、自身の仕事内容に加え、「地球環境・未来創造部」創設のいきさつや、現職に就いた経緯、環境問題に興味を持った中学生時代のことや、生きるということ、夢についてなどをフランクに話しました。石田はこの授業を通じ

て、生徒が当社の事業内容や社会貢献活動、企業理念への理解だけにとどまらず、普段接することのない“社会人”と触れる機会の創出により、大人と子どもが立場を超えたフラットな関係性で思いを話し合い、将来の夢や職業について考えるきっかけ作りの一役を担うことができたと考えています。

今後は、いくつかのチームに分かれて、“身近なゴミのアップサイクル”という課題に取り組んでもらい、当プログラムの集大成として 12 月中旬には課題解決案の発表の場を設け、1 チームを選考し、企画の実現に向けて支援します。



「地球環境・未来創造部」初代部長 石田公希

■ 小学校で無料授業「エコスクール」80 回以上実施のノウハウ活かし、教育委員会に協力

当社は、「未来に希望を抱く子どもたちに自然環境の大切さを学んでもらうこと」を目的に、対外的環境教育活動として、SDGs やリサイクルに関して学ぶ無料授業「エコスクール」を、2009 年度より継続実施しています。「エコスクール」はこれまでに、全国各地で 80 回以上開催していることから、そのノウハウを活かして、この度の職業体験プロジェクトに活かしています。

今後も当社は、リサイクル事業を通じて未来につなぐ持続可能な社会づくりに貢献し、たったひとつの故郷である“地球”に「ありがとう」を伝えていけるよう、地球環境保全の一助となる活動を継続したいと考えています。

【会社概要】

社名 : 三洋商事株式会社
代表 : 代表取締役 河原林 令典（かわらばやし よしのり）
本社所在地 : 東京都江戸川区東葛西 3 丁目 17 番 41 号
TEL : 03-6808-2171
URL : <https://sanyo-syoji.co.jp/>
設立 : 1957 年（昭和 32 年）3 月 18 日
資本金 : 9,000 万円
従業員数 : 255 名（正社員 180 名、パート 75 名）令和 3 年 7 月 5 日現在
事業内容 : 通信機器・交換機・コンピューター類のリサイクル、産業廃棄物の収集運搬及び処理、製鋼原料および非鉄原料の売買、貴金属類・地金回収販売、建設物及び工作物の解体・移設、中古機器器具の売買

公式 SNS アカウント : インスタグラム https://www.instagram.com/sanyo_mirai
ツイッター https://twitter.com/sanyo_mirai

＜三洋商事について＞

当社は 1957 年の会社設立以降、60 年以上にわたってリサイクル（廃棄物処理）サービスを展開しています。廃棄物を出さないゼロエミッション型企業を目指し、通信機器やコンピューター類の分解はすべて手作業（手サイクル）でおこなうことで、リサイクル率 98%を実現しています。

2008 年には「手サイクル」の取り組みが評価され、産業廃棄物業として初めて『エコ・ファースト企業』に認定され、2014 年には『エコ・ファースト 環境メッセージ EXPO2014』において環境大臣賞を受賞しました。

また、2020 年 5 月には CSR 活動の強化を目的に、新部署「地球環境・未来創造部」を立ち上げ、現在 3 名の社員が CSR 活動（環境、労働安全衛生・人権、雇用創出、品質、取引先への配慮など）に従事しています。

当社は今後も、地球環境保全推進に向けて、「燃やさない、埋めない」リサイクルシステムや産業廃棄物の破砕・分別技術の向上を図り、循環型社会の一翼を担っていきます。



23 区唯一の自然島“妙見島”にある東京本社



産業廃棄物処理業として初めて
エコ・ファースト企業に認定
（全国でも 50 社のみ）

本件に関するお問い合わせ先
三洋商事広報事務局 担当：福土（ふくと）
MOBILE : 080-6538-6292
電話 : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788
E-mail : pr@netamoto.co.jp

参考資料

地球環境・未来創造部 初代部長 石田 公希（いしだ まさき）



1995 年生まれ、26 歳。入社 4 年目。

大学では「環境学部」を専攻し、環境保全に並々ならぬ想いを抱いて入社。CSR の専任部門を創部したいという構想を立て、2 年前から社長に直談判し、1 年前ついに「地球環境・未来創造部」の創設を実現した。

当社は以前から、森林保全活動や環境教育といった CSR 活動を先進的に取り組んでいたものの、総務部や人事部が包括的におこなっていたもので、専門的な部署は存在しなかったが、「地球環境・未来創造部」が独立した部門になったことで、SNS 発信などの広報力の強化やエコスクールのリニューアルなど、よりダイナミックな展開の実現に向けて活動の幅を広げています。

全国無料「エコスクール」



国立大学法人 千葉大学教育学部附属小学校での授業の様子

当社は、対外的環境教育活動として 2009 年度より全国無料「エコスクール」を継続実施しています。これまでの「エコスクール」は、工場見学や携帯電話を解体するリサイクル体験を実施していましたが、コロナ禍の影響もあり、座学中心のプログラムにリニューアルしました。このリニューアルにより、全国無料で授業を実施することが可能になり、今後はさらに積極的に活動していく予定です。

当社は「エコスクール」を通じて、子どもたちが気候変動やゴミ問題などに対する正しい知識・関心を身につけるとともに、自然の大切さに興味を持つ機会の提供をおこないます。

全国でわずか 50 社だけの「エコ・ファースト企業」に認定



エコ・ファースト制度とは企業が環境大臣に対して地球温暖化対策や廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。当社は、人の手による解体“手サイクル”の取り組みなどが評価され、2008 年に産業廃棄物処理業で初めて「エコ・ファースト企業」として認定をいただきました。当社は、「エコ・ファースト企業」による自主運営組織「エコ・ファースト推進協議会」の一員として、第 12 回『エコとわざ』コンクールに協力しています。

<第 12 回『エコとわざ』コンクール>

6 月 5 日～9 月 5 日に、全国の小・中学生から創作ことわざを募集。最優秀作品には「環境大臣賞」を授与するほか、加盟企業賞として「三洋商事賞」の授与も予定しています。

詳細 URL:<http://www.ecotowaza.jp/>